

令和4年1月27日

銭函中学校保護者の皆様

小樽市立銭函中学校長
山 崎 徹 也

令和3年度12月 保護者アンケート結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、先日は「銭函中学校の教育に関するアンケート調査」にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。7月期に比べ回答数が大幅に増加したことにあわせて御礼申し上げます。いただきました貴重なご意見を、今後の学校改善に役立てていきたいと思います。アンケート結果（グラフ）は裏面をご覧ください。

<アンケート結果の分析について>

7月実施の際と同様にほとんどの項目において、「ややあてはまる」と中心に肯定的な回答が多く、現在の銭函中学校が引き続き生徒にとって充実した学習・生活環境になってきていることが伝わってきます。

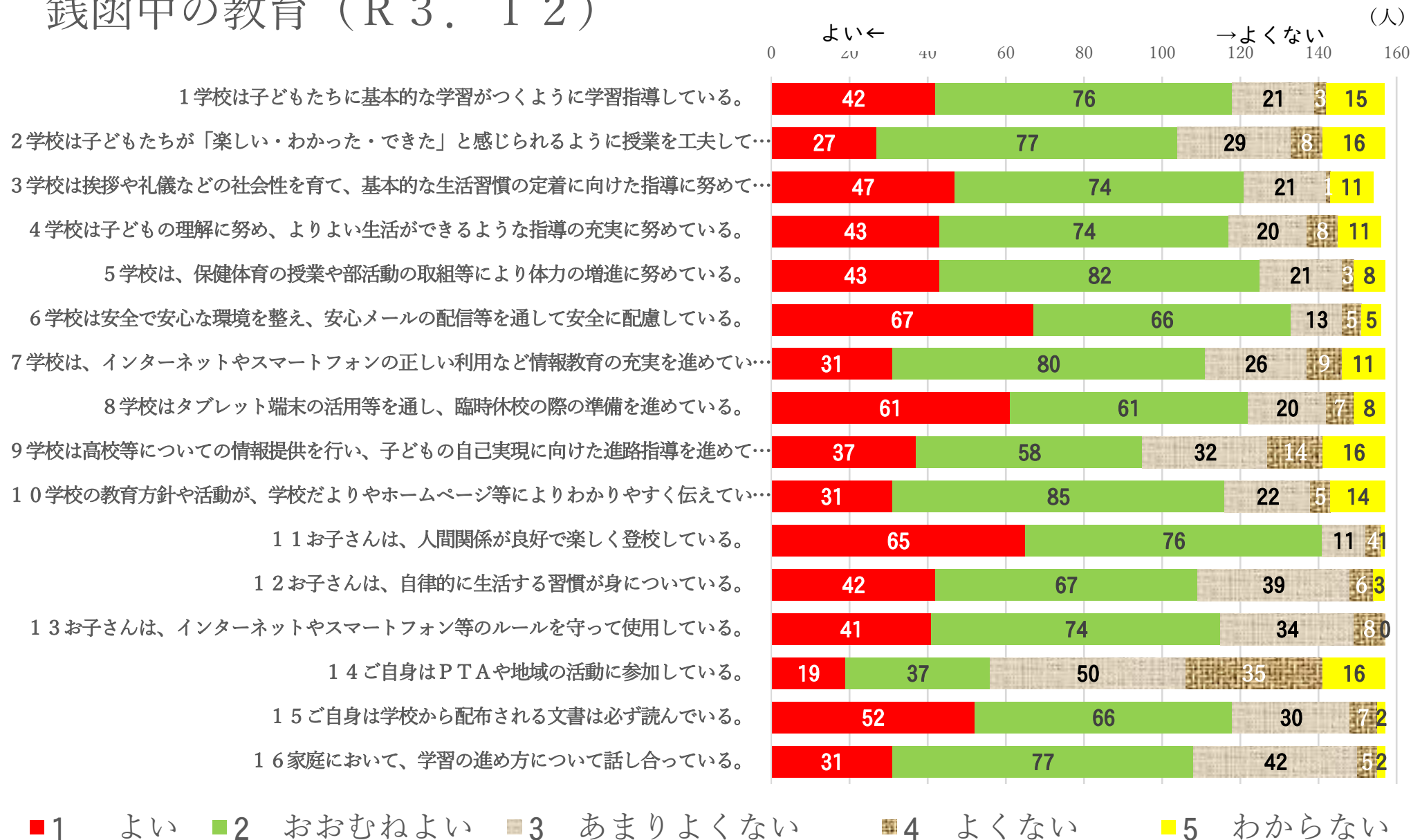
特にNo.11の項目「お子さんは人間関係が良好で楽しく学校へ通っている」は、回答数の90%以上に肯定的をご意見をいただいております。なお、思春期である中学校期は様々な人間関係のトラブルがあって当たり前の時期です。不安がある場合は、担任等に速やかに相談するようにしていただければと思います。

また、No.8「学校はタブレット端末活用等を通し、臨時休校の際に学びを止めないための準備を進めている。」については、臨時休校の時のみならず、長期欠席の場合もオンライン授業配信を行っております。ご利用の場合は担任までご相談ください。

その一方で、No.9「学校は高校等についての情報提供を行い、子どもたちの自己実現に向けた適切な進路指導を進めている。」については、進路に関する情報提供を求める声を自由記述欄にいただきました。本校では「社会に開かれた教育」、つまり、将来社会に出たときに自分で考え判断し、行動できる力を育てることを念頭に置き、自分で課題を見つけ、それを解決する力を獲得させる教育を行っています。進路指導は高等学校を選ぶことだけではなく、就きたい職業、学びたい事柄について考え、自分で情報を収集して決定する力を身に着けることができるよう指導に当たっています。上級学校(高等学校等)も昔とは異なり、多様な教育内容や学び方ができるようになっています。今後も総合的な学習の時間や特別活動などで自己の進路について考える機会を増やしていきますが、進路指導(キャリア教育)は生徒が主体となって、自分で自分の幸せな人生を考え選択する大切な学びです。個別相談も行っていますので、ご相談ください。

記述式のご意見についてもすべて読ませていただき、全職員で共有いたしました。励ましの温かいお言葉も多数いただきまして感謝申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染症対策は今後も継続していきますですが、感染状況に応じて保護者の皆様の学校行事への参観など段階的に解除することを視野に入れております。また、引き続き学校だよりやホームページ上で学校の様子はお伝えしていきます。お子さんのこと、学校教育に関することでののお問合せ、ご相談はいつでも受け付けます。保護者の皆様と学校、そして地域ぐるみで小樽・銭函の未来を担う人を育てることを願っています。

銭函中の教育（R 3. 1 2）



（無回答欄もあるため総数は項目によって異なります）

回答数 1 7 5 / 2 0 5 (家庭実数)